

## 植物多様性センターの「赤い実の理由」

冬の学習園には雑木林のあちこちに赤い実が残っています。多くの植物が赤く熟す実をつけるのは、鳥に実を食べてもらい、種子を遠くへ運んでもらうためといわれています。みなさんも鳥になったつもりで、学習園で赤い実を探してみてもいいでしょうか？情報館では、センリョウ、マンリョウなど、正月の縁起の良い植物についての展示を行っています。こちらをあわせてご覧になってください。



ガマズミ: 武蔵野ゾーン雑木林の入口の株は豊作です



サネカズラ: 和菓子の「京鹿の子」のようなかわいい集合果



マンリョウ: 小鳥が種子を運んで、学習園のあちこちで見られます



センリョウ: 伊豆諸島に多く自生します。円内はキミノセンリョウ